

中学生のみなさんの POP を展示します

狭山市立中央図書館では、中学生のみなさんの
おすすめ本の POP を展示します。

日時 令和7年3月6日(木)から4月15日(火)まで
場所 中央図書館 2階 児童書フロア

同年代がおすすめする本は、面白い作品がいっぱいです！
ぜひ見に来てください！



冬のイベント★参加者募集！

ビブリオバトル

日時 12月22日(日)・令和6年1月26日(日) 15:00~16:00
内容 1人5分間で、おすすめの本を紹介し合うゲーム
場所 狭山台図書館 2階 視聴覚室
対象 小学生から大人
申込み 不要
持ち物 おすすめの本1冊



図書館のホームページから、読みたい本の予約ができます。
イベント、開館時間、休館日等の最新情報もこちらからご確認ください。

狭山市立中央図書館 ☎ 04-2954-4646

狭山市立狭山台図書館 ☎ 04-2958-3801

狭山市公式HP <https://www.city.sayama.saitama.jp/>



YOMUZO TIMES

よむぞう タイムズ

FOR TEENS

第4号



これはトップシークレット



『変化球男子』

M.G.ヘネシー/作 杉田 七重/訳
鈴木出版 (JFへ)

シェーンは、野球チームのピッチャーとして活躍して、充実した毎日を過ごしていた。しかし、好きな女子にも、一番の親友にも、隠していることがある。
そんなある日、シェーンの秘密を知った敵チームの選手に、ある噂を広められてしまう。

予約はこちら

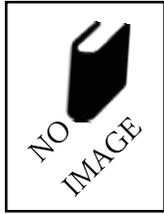


BOOK MENU

狭山市立図書館のティーンズ担当が10代のみなさんにおすすめするブックリストです。
第4号 Menu テーマ 「これはトップシークレット」

2024年12月15日発行

『秘密をもてないわたし』



ベニー・ジョエルソン／著
河井 直子／訳
KADOKAWA (JF ジ)



重度の脳性まひのせいで、身体が動かず、話すこともできないジェマ。ある日彼女のヘルパー、サラの恋人から、とっておきの秘密を教えられる。それは、彼が殺人事件にかかわっているという恐ろしいものだった。もしそれが真実なら、誰かに知らせなければ。

『トンネルの向こうに』



マイケル・モーパゴ／作
杉田 七重／訳 小学館
(JC モ)



第二次世界大戦中、バーニーは、空襲から自分を助けてくれた男と汽車のなかで再会する。時間つぶしに男は、ビリーという男の話を始めた。陸軍に入隊したビリーは、はやく戦争を終わらせたい一心で、どんな危険な任務にも志願した。そんな彼が、ある戦場で、一人の敵兵を逃がした。その敵兵とは一。

『蝶の羽ばたき、その先へ』



森埜 こみち／作
小峰書店 (JF モ)



結は耳鳴りに悩まされているが、親を心配させたくなくてなかなか言い出せなかった。ようやく病院に行くと、片耳がほとんど聞こえない、突発性難聴と診断される。友だちに難聴を隠したまま、聞こえるほうの耳だけに頼った生活に慣れようとするが、なかなかうまくいかず…。

『なんで洞窟に壁画を描いたの？』

美術のはじまりを探る旅



五十嵐 ジャンヌ／著
中島 梨絵／画
新泉社 (J702 イ)



博物館の展覧会で洞窟壁画に興味を持ち、歴史部の文化祭の発表で壁画を取り上げることにした理乃。次々に疑問がわいてきて、本物を見たら壁画の秘密がわかるかも、と思うようになった彼女は、祖父と一緒に、洞窟壁画の研究者の調査に同行することに。目指すはフランス、いざ洞窟巡りの旅へ！

『あの子のことは、 なにも知らない』

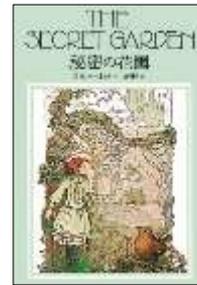


栗沢 まり／作
中田 いくみ／絵
ポプラ社 (JF ク)



卒業祝賀会では、小さい頃の写真をスライドショーで流して、親への感謝の手紙を渡すのが伝統だ。それなのに、卒業直前に来た転校生が写真を持ってこない。実行委員長は、提出物を一度も持ってこないならしなさを責めるが、実行委員のなかには、何か事情があるんじゃないかと考える人もいて…。

『秘密の花園』



F.H.バーネット／作
脇 明子／訳 教文館
(JF バ)



病気がちでわがままに育ったメアリは、コレラで両親を亡くし、親戚の屋敷に引き取られた。大きくて寒々しいその屋敷には、誰も入ってはいけない鍵のかかった庭があるという。はじめは何もすることがなくぼんやりしていたメアリだったが、秘密の庭の入口を探すうちに、ある変化が。

『先生、ウンチとれました 野生動物のウンチの中にある秘密』



牛田 一成／著
さ・え・ら書房 (J481 ウ)



保護された動物を野生に帰したり、絶滅危惧種を守ったりするためには、腸内細菌の研究が不可欠。そんな腸内細菌は、腸で作られたウンチとともに排出されるところが、その多くは、酸素に触れると死んでしまう。ということは…動物を追いかけて、出したてのウンチをとるしかない！

『秘密の道をぬけて』



ロニー・ショッター／著
千葉 茂樹／訳
中村 悦子／画
あすなろ書房 (JS シ)



アマンダは夜中、物音で目を覚ました。ノックの音や馬のいななき、奇妙な人間の声。彼女が震えながら外に出てみると、荷台からおろされた麻袋から、次々と人間が。父親と握手をした彼らは、アマンダの家に入っていく。クローゼットの奥の隠し扉に逃げこんだ彼らは一体？